

KENRYO topics

「県陵の学びを支援する会」発足



高33回
高木 和久

昨年の12月2日、松本駅前の松本東急REIホテル1Fのシャングリ・ラに於いて、第1回の「県陵の学びを支援する会」が開催されました。

永原校長先生から幹事役を依頼された当初は、学校評議員の皆さんを中心とした数名の親睦会というイメージでした。が、その後、より多くの方々に参加をいただければと声をかける中で、OB・OG、PTA、教職員の総勢36名の皆さんにお集まりいただきました。

席上、永原校長先生が挨拶で、「社会が急速に変化するなか、日本の教育界も大きな改革が進行している。長野県内の各高校でも、生徒がより主体的に学ぶ『学びの改革』に取り組んでいる。本校では、一年生が総合的な学習の時間で『信州学』を行い、高く評価された。来年11月には、グローバ

今、
県陵の学びを考える。



ル教育の一環として、台湾への修学旅行が予定されている」と県陵の現状を紹介されました。

「学びの改革」のフロントランナーとして、県陵は先進的な取り組みを始めているところであり、今後地域の様々な分野で活躍している皆さんの支援が必要不可欠になってくるということを校長先生は意識しておられるんだなと感じました。

また、生徒の前でこれまでの経験や知見を語ってもらう「県陵セミナー」のアイデアも披露され、参加者の中でも若い年代の人たちから、「是非そういう機会に話をしたい」という意欲的な声が聞かれ、第1回目としては有意義な会となったと思います。

ちなみに第2回目は今年7月に開催される予定です。「県陵の学びを支援する会」が今後どのような方向に向かっていくのか、とても楽しみです。

今後の活動については、発起人メンバーの方々のご協力をいただきながら、いろいろな趣向を凝らし、楽しく、ながく続けていきたいと思っております。
どうぞ皆さん、ふるってご参加ください！

(高17回 渡辺雅美)



この企画も大変好評でした。最後にこの会についてのアンケートを取らせていただきました。今後の会の発展のために参考にさせていただきます。

当日は高4回生から高44回生の24名が出席くださり、心温まる交流が生まれました。食事・団らんの後はお正月が近いこともあり、割り箸を入れる袋を素敵な千代紙紙で2枚ずつ作ってもらいました。

それが少しばかりの空白期間がありました。発起人メンバーを増員し、相談の結果、私が会の代表をさせていただくことになり、平成28年12月10日装いも新たに第1回目の「ま!どんな会」ランチ会を母校県陵の近所にあるお寿司屋さんで開催しました。

県陵OGの会「ま!どんな会」は、池野節子(高4当時同窓会副会長)さんに初代会長になっていただき、あまり細かな規則など設けずモットーだけを掲げて平成20年11月産声をあげ、数回おこなった会食会を開きました。

新装「ま!どんな会」スタート



ふるさと通信

【第1回 松本マラソン 10月開催】

母校県陵が位置する松本市。明治40年5月の市制施行以来、百十周年を迎えました。先に開催された記念式典を皮切りに、6月には全日本花いっぱい大会、8月にはNHKのど自慢大会、9月にはプロ野球・巨人・中日戦などの記念事業等が予定されています。
この中で、10月1日には、松本では初めてのフルマラソンとなる「第1回松本マラソン」が開催されます。
朝8時30分に松本市総合体育館(美須ヶをスタート。市内を南下し、塩尻市野村、信州まつもと空港を経て、笹賀二子橋を折り返し、信州スカイパーク陸上競技場をゴールとする42.195キロの日本陸上連盟公認のコースです。参加者は1万人規模。申込は5月未まででしたが、好評のうちに既に締切となっています。

松本マラソン実行委員会事務局 長を務める松本市文化スポーツ部長の寺沢和男氏(高9)に、大会への想いを伺いました。

「松本マラソンを通じ、健康づくりをはじめ、世代を越えた地域コミュニティの絆の強化、交流人口の拡大と地域経済の活性化を目指し、大会の成功に向けて全力で準備に取り組んでいます。」「松本城や北アルプスなど、松本ならではの景観を楽しめるコースとなっていますので、参加する人も応援する人も、この大会を楽しんでいただければありがたい。」と寺沢氏。



来年以降は10月第1日曜日に開催予定とのこと。まずは第1回大会の成功を祈念します。

(高30回 守屋千秋)